

工事説明書

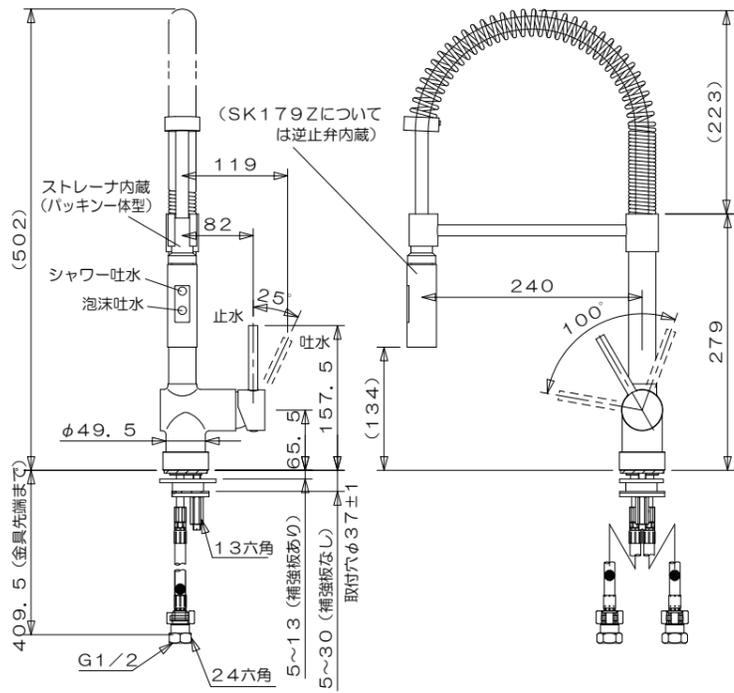
台付きシングルレバー湯水混合水栓 (シャワ)

SK179Z

SK179ZDAH (寒冷地形)

保証書にお取付店名、お取付日を必ずご記入下さい。また、この取扱・工事説明書は直接お客様に手渡して下さい。

外観寸法図



使用条件と取り付け前のご注意

給水・給湯 圧力	最低必要圧力	0.15MPa
	最高圧力	0.75MPa (静水圧)
	適正圧力	0.2~0.3MPa
推奨給湯温度	60℃	
使用可能水質	水道水及飲用可能な井戸水 (※)	
用途	一般住宅用	

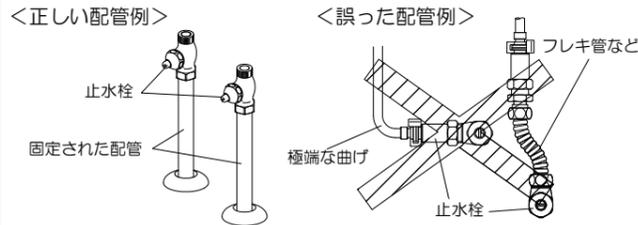
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適正圧力(0.2~0.3MPa)に減圧して下さい。ウォーターハンマーや流水音が低減します。
- 給水圧力は給湯圧力と同等もしくは高く設定して下さい。
- 誤作動などによるやけど防止のため、60℃以下の給湯をおすすめします。
- 高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし破損や水漏れの原因となります。
- 給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。
- 湯・水を逆配管しないで下さい。やけどや故障の原因となります。
- 給湯に蒸気を使用しないで下さい。やけどや故障の原因となります。
- 水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流して下さい。漏水により、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 温度調節を容易にするために給水、給湯圧力の差はなるべく小さくして下さい。
- (※) 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

器具の取り付け

取り付け順にしたがって確実に取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

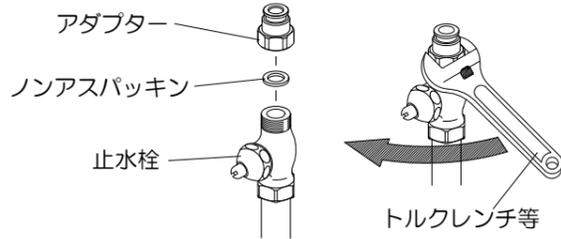
1 湯側・水側の配管に止水栓 (別売品) を取り付けます。

※止水栓は固定された配管に取り付けて下さい。
 ※流量調節や保守点検のため、必ず取り付けして下さい。
 ※止水栓の取付状態に注意して下さい。(給水・給湯ホースが極端に曲がるような施工はしないで下さい。器具の破損、水漏れの原因となります。)
 ※水漏れの恐れがありますので、アダプターはフレキ管などへは直接取り付けしないで下さい。



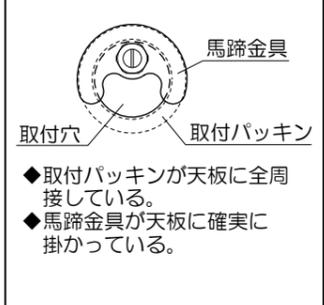
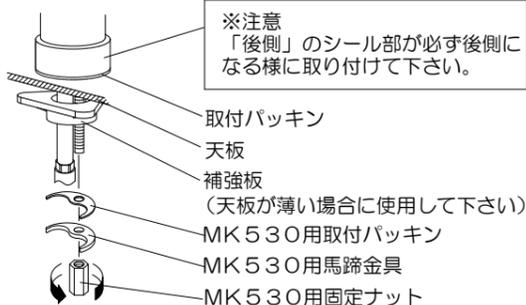
2 アダプターを止水栓に固定します。

※アダプターは手でいっぱい締め付けた後、モンキーレンチで45度程度、締め付けて下さい。(適正トルク: 19.6⁺⁵₀ N・m)
 ※アダプターと止水栓の間には、付属のノンアスベストパッキンを必ず入れ直接止水栓に取り付けて下さい。
 ※ノンアスベストパッキンの取付けは、取り付け面が平滑でないと漏水の原因となります。平滑でないものは絶対に使用しないで下さい。



3 混合栓本体を天板に固定します。

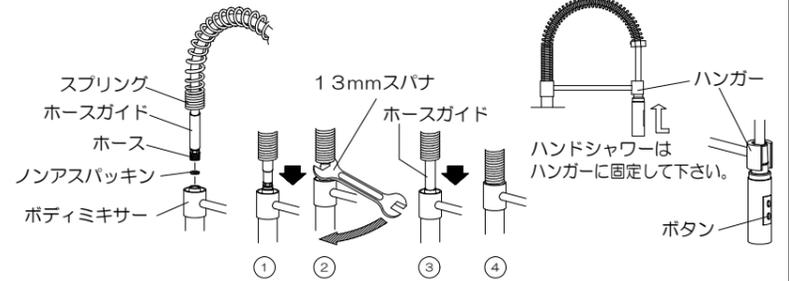
※本体の凸部分を取付穴に差し込んで取り付けして下さい。
 ※固定ナットの締付けはTOTO製・締付工具(13六角): TZ40L等を使用して下さい。
 ※天板が薄い場合は、補強板を天板の下に入れて下さい。
 ※固定ナットは、締めすぎないで下さい。馬蹄金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
 ※本体を固定する際や、固定後の位置調整を行う際にレバーハンドルや吐水口を持たないで下さい。(それらを持って締め付けると破損の恐れがあります。)



- ◆取付パッキンが天板に全周接している。
- ◆馬蹄金具が天板に確実に掛かっている。

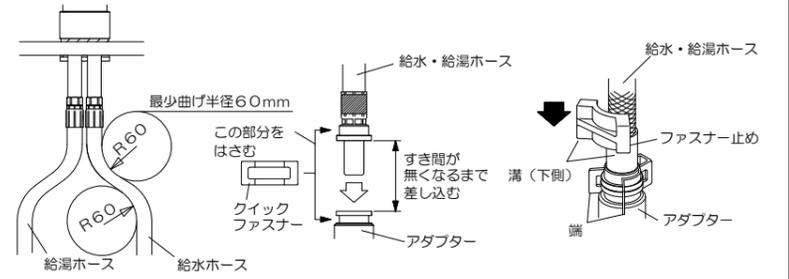
4 ボディミキサーとシャワーホースを接続、固定します。(必ず3の混合栓本体を天板固定後に行ってください。)

- ①ボディミキサーにホースを取り付けて下さい。
 *スプリングとホースガイドを持って、ホースを引き出して下さい。
 *ボディミキサーとホースの間には、付属のノンアスベストパッキンを必ず入れて下さい。
- ②ネジがノンアスベストパッキンに当たるまで締め付けた後に、13mmのスパナで90度程度締め付けて下さい。(適正トルク: 8N・m)
 ※過度な締め付けをおこないますと、漏水の原因になります。
- ③スパナで締め付けた後に、ホースガイドを定位置に戻して下さい。
- ④スプリングを押し込んで下さい。
 ※シャワーヘッドはハンガーに固定して下さい。
 ※シャワーヘッドのボタンの向きは、ハンガーに固定した際右図の位置になる様にシャワーヘッドを回して調整して下さい。



5 給水・給湯ホースをアダプターに固定します。

- ※給水・給湯ホースは大きな曲げ半径 (最小曲げ半径 60mm以上) で曲げ、止水栓へ接続して下さい。その際、各ホースにねじり力を加えたり、ねじれが生じないようにして下さい。
- ※給水・給湯ホース先端部とアダプターの隙間が無いことを確認してからクイックファスナーを確実にはめ込んで下さい。
- ※クイックファスナーをはめ込んだ後、ファスナー止めの溝(下側)を確実にはめ込んで下さい。
- ※接続後、給水・給湯ホースを上方へ強く引いても抜けないことを確認して下さい。



取り付け後の点検・調整

- ※給水・給湯ホースを上げ下げし、外れないことを確認して下さい。
- ※水栓の出し止めに数回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認して下さい。
- ※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入しないか確認して下さい。
- ※吐水口部はさすし、泡沫内芯をよく水洗いして砂、ゴミなどを完全に除去して下さい。(取扱説明書参照)
- ※おしいいただく現場で適量、適温が得られるよう止水栓で調整して下さい。水の流量を湯の流量の1.5倍程度にすると温度調節がしやすくなります。

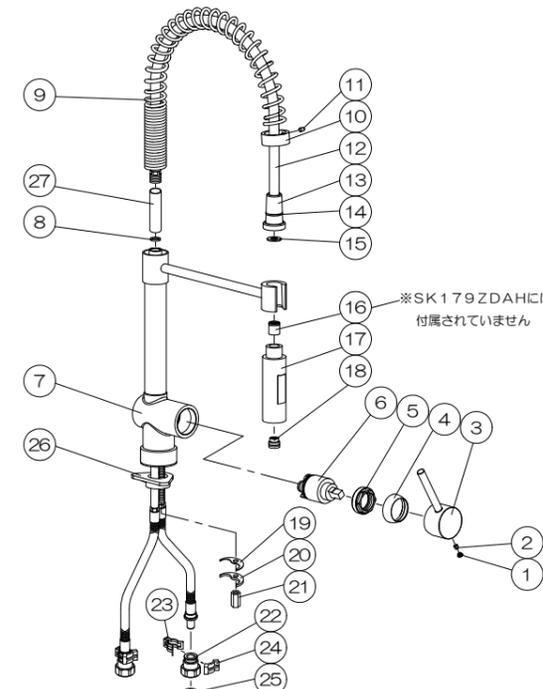
点検項目

使用中に異常が生じた場合は次の項目を点検し、調整して下さい。

異常な状態	点検・調整
吐水量が少ない	①止水栓が閉まりすぎていないか、ドライバー等で調整する。 ②泡沫内芯にゴミが詰まっていないか (分解図参照)。 ③給水・給湯源に異常はないか。
高温あるいは低温しか出ない	①止水栓が閉まりすぎていないか、ドライバー等で調整する。 ②熱源が正常に作動しているかどうかを確認する。また、給水圧力に大幅な変化が無いを確認する。

分解図

万一故障等で分解される場合は下図をご参照下さい。



1	クロム ボタン φ6
2	M5×6 レバースクリュー
3	レバーハンドル
4	メタルキャップ アンダーレバー
5	カートリッジ 止めリング
6	カートリッジ φ35 (SCC 35SF)
7	ボディミキサー
8	ノンアスベストパッキン13.5×8.3×2
9	φ4 スプリング
10	φ39 リング
11	M5×6 スクリュー
12	ホース M15×1
13	コネクション 1/2
14	Oリング・S18 NBR
15	ストレーナー付パッキン
16	逆止弁
17	ハンドシャワー
18	泡沫内芯
19	MK530用取付パッキン
20	MK530用馬蹄金具
21	MK530用固定ナット
22	N用アダプター-D
23	クイックファスナー
24	ファスナー止め
25	ノンアスベストパッキン
26	補強板
27	ホースガイド

